

(2) 社 会

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>① 知識・理解</p> <p>1. 原始時代の遺跡（貝塚・登呂遺跡）と出土品</p> <p>貝塚か、登呂は、それぞれ正答率が77%であり、無答が目だつ。</p> <p>登呂遺跡からの出土品として、農耕生活をうらずける木製くわの正答率は46%である。誤答例としては、古墳時代のはに輪を選んだものが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にとって、この時代の学習は、興味・関心の高いところで、その後の歴史学習に大きな影響を与えるので大切に扱いたい。 ○ 郷土の遺跡や遺物など実地にふれて指導しておきたい。近くにない場合は、模型や写真などを利用したい。 ○ 原始時代の人々の生活のようすを出土品との関係でとらえさせたい。 ○ 貝塚を「かいづか」と答えたものがあったので、正しい表記を指導しておきたい。
<p>2. 鎖国にかかわる人物（徳川家光）と貿易港（長崎）</p> <p>鎖国を完成した徳川家光を正答としたものは41%である。誤答の大部分は徳川家康で、吉宗がそれに次ぐ。</p> <p>人物家光の正答率の低いのに対し鎖国中の貿易港である長崎の正答率は75%で、人物とその働きが結びついて理解されていないことを示している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史上活躍した人物と、その業績をいわゆる人物中心の指導によって、正しい知識として定着させたい。 ○ 鎖国の原因の一つであるキリスト教の禁止については、県内においても厳しい禁令の例があり、その高札などの資料を活用して理解させることも考えられる。
<p>3. 聖徳太子の業績（十七条の憲法・遣隋使）</p> <p>十七条の憲法の正答率は69%で、誤答例としては、冠位十二階が多い。</p> <p>遣隋使の正答率は65%で、誤答例としては遣唐使が目だつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正誤のまぎらわしい問題ができない大きな原因は、内容を十分に理解していないことにある。冠位十二階が人材登用策であることや当時の中国が隋であることをおさえて指導する必要がある。
<p>4. 太平洋戦争後の日本の民主化（選挙権・労働組合・農地改革）</p> <p>選挙権を与えられる年齢の正答率は、83%の高率を示している。被選挙権と混同し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代史は非常に複雑すぎて指導しにくいなどということがあげられるが、児童にとっては新しい知識であり、しかも抽象的なことなので指導内容を精選するとともに日常生活の